

## 第12回秋田市マイタウン・バス南部線河辺地域運行協議会議事要旨

開催日時 平成29年2月19日(日) 午後1時30分～2時45分

開催場所 河辺総合福祉交流センター 1階 健康学習室

委員定数 13人

出席委員 9人

次 第 1 開会  
2 議事  
3 その他  
4 閉会

議 事 議事(1) 秋田市マイタウン・バス南部線河辺地域の利用状況について  
(2) 今後の事業改善について

事 務 局 ただ今から第12回秋田市マイタウン・バス南部線河辺地域運行協議会を開催する。

本日の協議会は委員13名中、委員の過半数である9名の出席をいただいていることから、秋田市マイタウン・バス南部線運行協議会設置要綱第5条第2項により会議が成立することを報告する。

開会にあたり、交通政策課長よりあいさつ申し上げます。

(課長あいさつ)

次第2の「議事」

設置要綱第4条第3項の規定により、会長が議長となる。

会 長 議事1, 2について、一括して事務局に説明を求める。

事 務 局 (説明)

会長 ただいまの説明に対し、質問等はあるか。

委員 最近の利用者の動向はどのようになっているか。

委員 河辺地域全体としては減少傾向にあるものの、岩見温泉のリニューアル以降、温泉を目的に乗車する利用者が戻りつつある。

委員 実際に戸島の町内では、岩見温泉に行くために数人で固まってマイタウン・バスを利用する方がいたため、盛り上がりを感じていた。現状では赤字であると思うが、市民と行政が一丸となることで現状の改善が出来ると思っている。

会長 他に何かあるか。

委員 利用者を増やすために、河辺Bコースの日赤病院への行き帰りの便を予約式から定期便にすれば、利便性が向上し利用者が増えるのではないか。

委員 河辺Bコースはコインバスで利用する高齢者が多いが、うまくやりとりが出来ないことを気にしているためか、電話予約することに対して消極的になっている状況である。またバスが通りかかった際に急に乗りたくなかったとき、予約がないと乗車できないことが不便である。

委員 河辺Bコースの車両は9人乗りと乗車可能人数が少なく、予約していない方を手当たり次第に乗せると定員オーバーをしてしまう可能性があるため、予約をした上での乗車は守っていただきたい。電話だけでなくFAXでの受付も行っているので、電話予約に消極的ならば、FAXの利用も検討して欲しい。また、河辺Bコースは、地形や道路の形状から、現状のものからさらに大型化することは困難である。

会長 マイタウン・バスの運営状況が厳しい以上、定期便を増やすなどの運行上の負担を増やしての策を講じるのは厳しいだろう。それならば町内の中で予約係を設けるなどの体制を構築するのはどうか。例えば予約係が代理で利用者複数名をまとめて予約することは可能か。

委	員	可能である。	
委	員	可能であるならば、今後は予約を行う体制を委員が検討していく。	
会	長	他に何かあるか。	
委	員	コインバスはいつから導入されているのか。また今後コインバスでの利用者は増える見込みか。	
委	員	平成23年から導入されている。最近では、高齢者の免許の返納が増えているという背景もあるため、コインバスでの利用は今後増えるのではないかと見込んでいる。	
事	務	局長	委員の皆さまには、マイタウン・バスの利用を呼びかけるなど、地域の足を地域で守るリーダーとして、協力をお願いしたい。
会	長	今後は、利用拡大を目指しつつ、負担金を減らしていくことに努めていくこととする。秋田市からも利用効率の検討をお願いしたい。 ほかに質問や意見がないようなので、次第3の「その他」について、何かあるか。	
事	務	局長	河辺Bコースを定期便にする案も挙げられたが、現状としては、マイタウン・バス全体で利用者の低迷により市民の税金から支払われる負担金が大きくなっているため、出来るだけ赤字を減らしたいと考えている。マイタウン・バスの運行形態については、利用のされ方を含め、調査・研究の時間をいただきたい。
会	長	了解した。他に意見がなければ、進行を事務局に戻す。	
事	務	事務局	第12回秋田市マイタウン・バス南部線河辺地域運行協議会を閉会する。

以上